

島本町デザイン計画

DESIGN PLAN

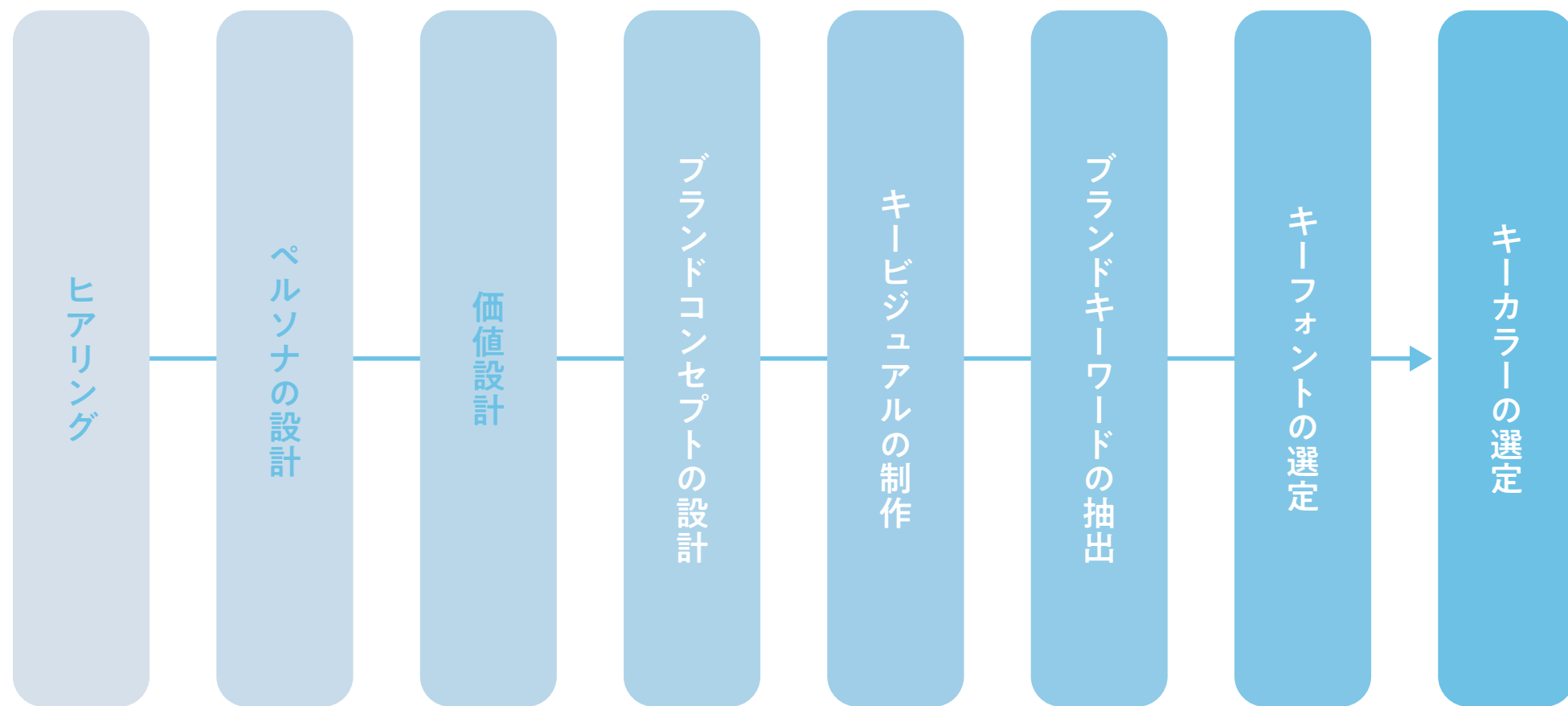
ver.01



島本と。

- 01 デザイン計画の全体像
- 02 ペルソナ設計
- 03 価値設計
- 04 ブランドコンセプト
- 05 キービジュアル
- 06 ブランドキーワードの抽出
- 07 キーフォント
- 08 キーカラー
- 09 ムードボード

デザイン計画の全体像



現状把握

魅力の言語化

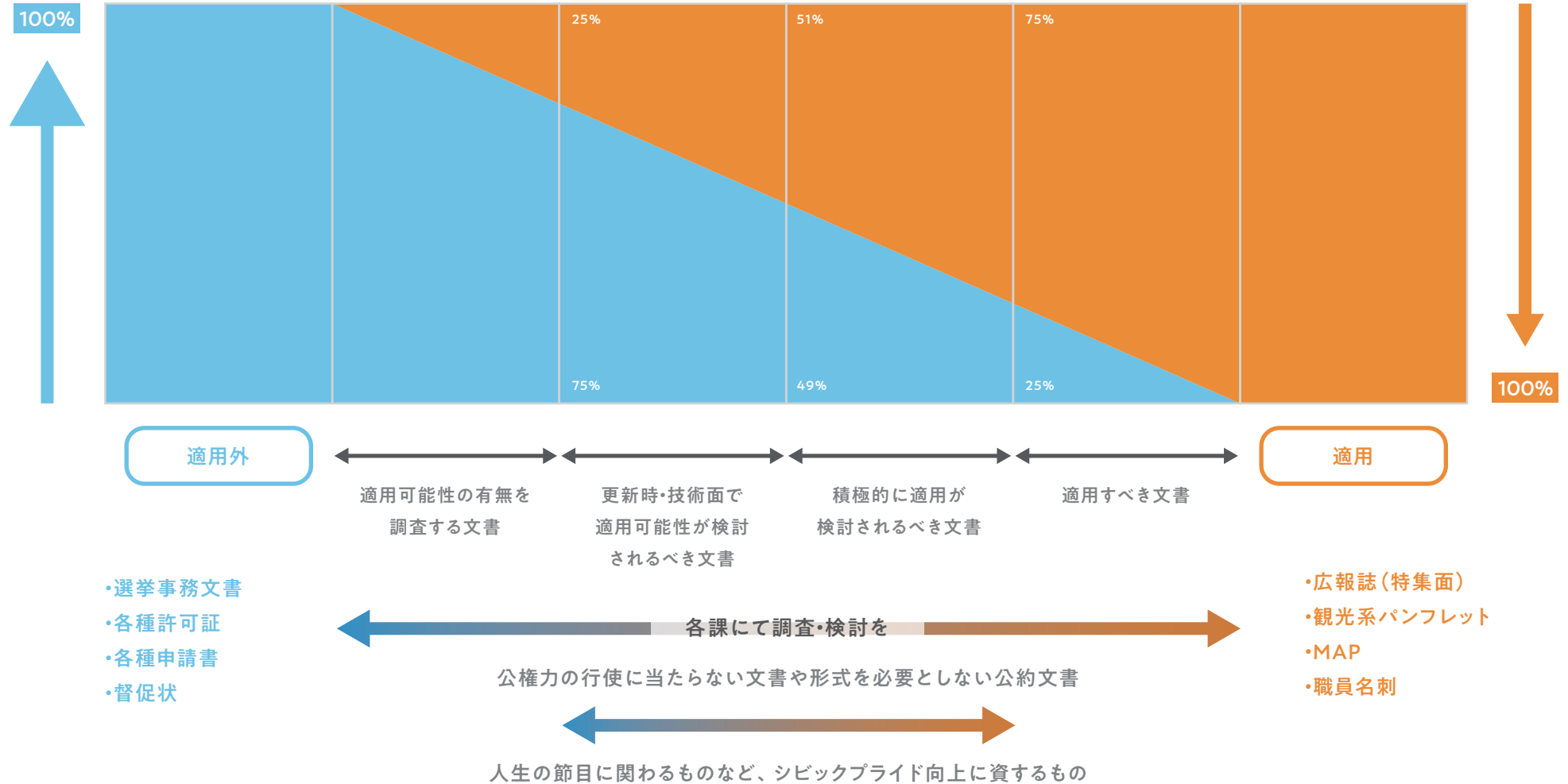
らしさの表現

法定事務文書

(法令で定められた定形業務に基づく文書類)

政策啓発文書

(地域のブランド醸成・イメージ形成に資する意図が含まれている文書類)



ペルソナ設計

■ 人物のイメージ写真



■ 属性情報

堀口 みさこ (29歳)

職業：イラストレーター

年収：会社員 (320万) / 世帯年収 (720万)

出身地：京都生まれ

家族構成：結婚2年目。夫と猫と3人暮らし。

これから子どもが欲しいと考えている。

■ 人物の特徴

居住地： 横浜から京都に引っ越してきた、Uターン組。

活動範囲： 会社が自宅リモートワーク。自炊がほとんど。外食はあまりしないが、喫茶店には詳しい。

趣味： 環境・身体に良いものが好き。自分なりのこだわりや世界観を大事にしている。

性格： 性格は穏やか。お酒は好きだが、適量を楽しむ飲み方。

ライフスタイル： 元々広告代理店の営業でバリバリ仕事をしてきたが、自分と夫とこれからの家族のためにQOLの高い落ち着いた暮らしをしたいと思い、自分の興味に近い仕事に転職した。

ライフステージ： フリーカメラマンの夫(33歳)と暮らしている。少し生活に余裕が出てきたので、落ち着いた場所で子どもを育てたい。

情報収集： Instagramを主に使用し、コーヒー、本、アウトドア、アート系のアカウントをよく見る。

興味関心： いろんな所へ自分から積極的に足を運ぶ。気になったお店があったら1人でも気にせずに入る。

行動の特徴/スマホとの関わり方： 自分にとって居心地が良い場所、人といることが好き。プライベートと仕事の境目は特にない。自然の中にいたり、家の中で観葉植物を眺めていると癒される。温かいコミュニティや、同じ価値観を持ったクリエイターと話すことが好き。

顕在化している課題： 地域で仲良くなってみんなで子育てができるような関係性が欲しい。もう少し自然に近い場所に引っ越すことができると心地よく暮らせると考えている。

島本町で暮らすことでの理想状態： 自然に近い場所に住むことで、日常的に豊かな暮らしをする。近所に住んでいる人、店員さんたちと心地よい関係性になって、助け合えるような関係性を築きたい。

顕在化していない潜在的な課題： 引っ越しを予定している先で人に出会う機会がない。

島本町に魅力を感じてくれる人は…

「日常的に自然と触れながら、都会近くで暮らしたい」子育て世代の夫婦

働き尽くしだった20代。30代は夫と猫と自分のペースでゆっくり働き、暮らしたい。自然と触れ合える田舎がいいけれど、まだまだ京都の友達にも会いたいし、実家にも月に一度は帰りたい。かといって都会に住むのは疲れてしまった。将来は夫と二人で小さなお店を開いて、自分と似た感性の人と出会いたい。さあ、どんなことをしよう。そんな時に、島本町を見つけました。

- ✓ 自分の機嫌を取る方法を自分でよく理解しており、自然と触れ合うことが一番の癒し
- ✓ 将来、子どもと自然の中でのびのび遊ぶことを楽しみにしている
- ✓ 自然と田舎のバランスが何より大事だと考え、現状の暮らしを大きく変えたいわけではない
- ✓ 人に出会うことが好きで「こと起こし」や「場づくり」を意識せずとも行き、地域のハブになっている

価値設計

島本町は、

「日常的に自然と触れながら、都会近くで暮らしたい」
子育て世代の夫婦

に 世代を超えて、
愛着を感じながら住み続けられる新しい居場所

を提供する。



島本と。

島本町に帰りたと思ったのは、

目に見えるところに緑があったから。

誰とも比べなくても、良かったから。

良いことばかりじゃ無いし、

もしかしたら

ここよりも自然が素敵で

都会にも出やすい町があるかもしれない。

でも、

わたしは島本がいい。

帰ってきてから思った。

島本とわたしは、やっぱり相性良いみたい。



島本町に帰りたいと思ったのは、
目に見えるところに緑があったから。
誰とも比べなくても、良かったから。

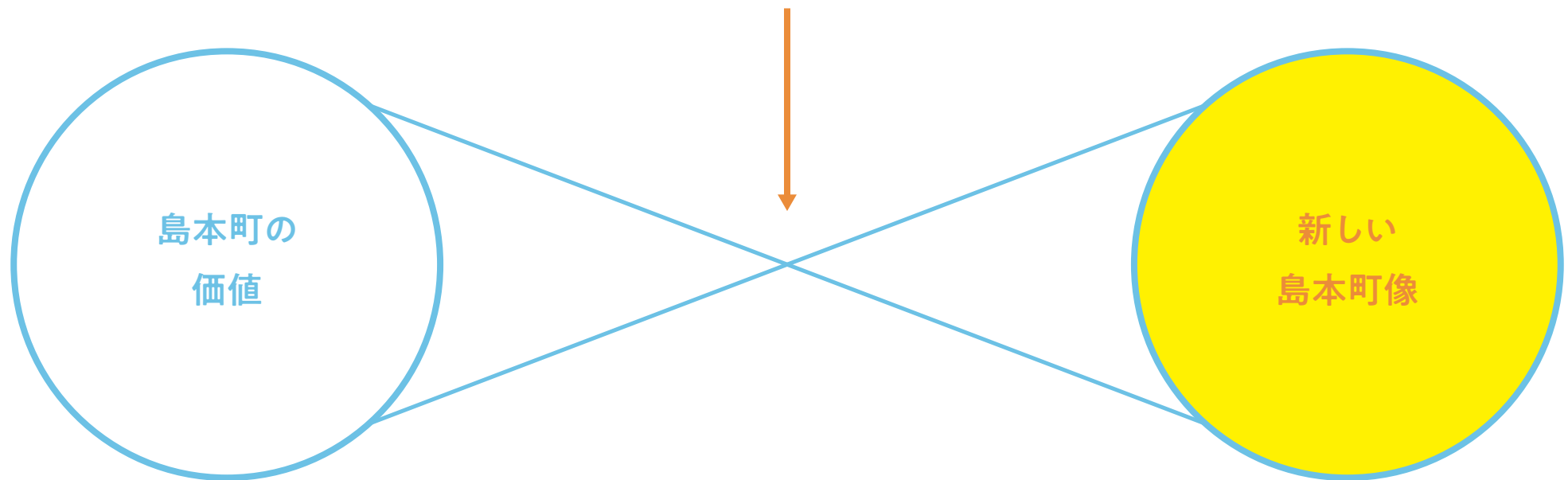
良いことばかりじゃ無いし、
もしかしたら
ここよりも自然が素敵で
都会にも出やすい町があるかもしれない。

でも、
わたしは島本がいい。

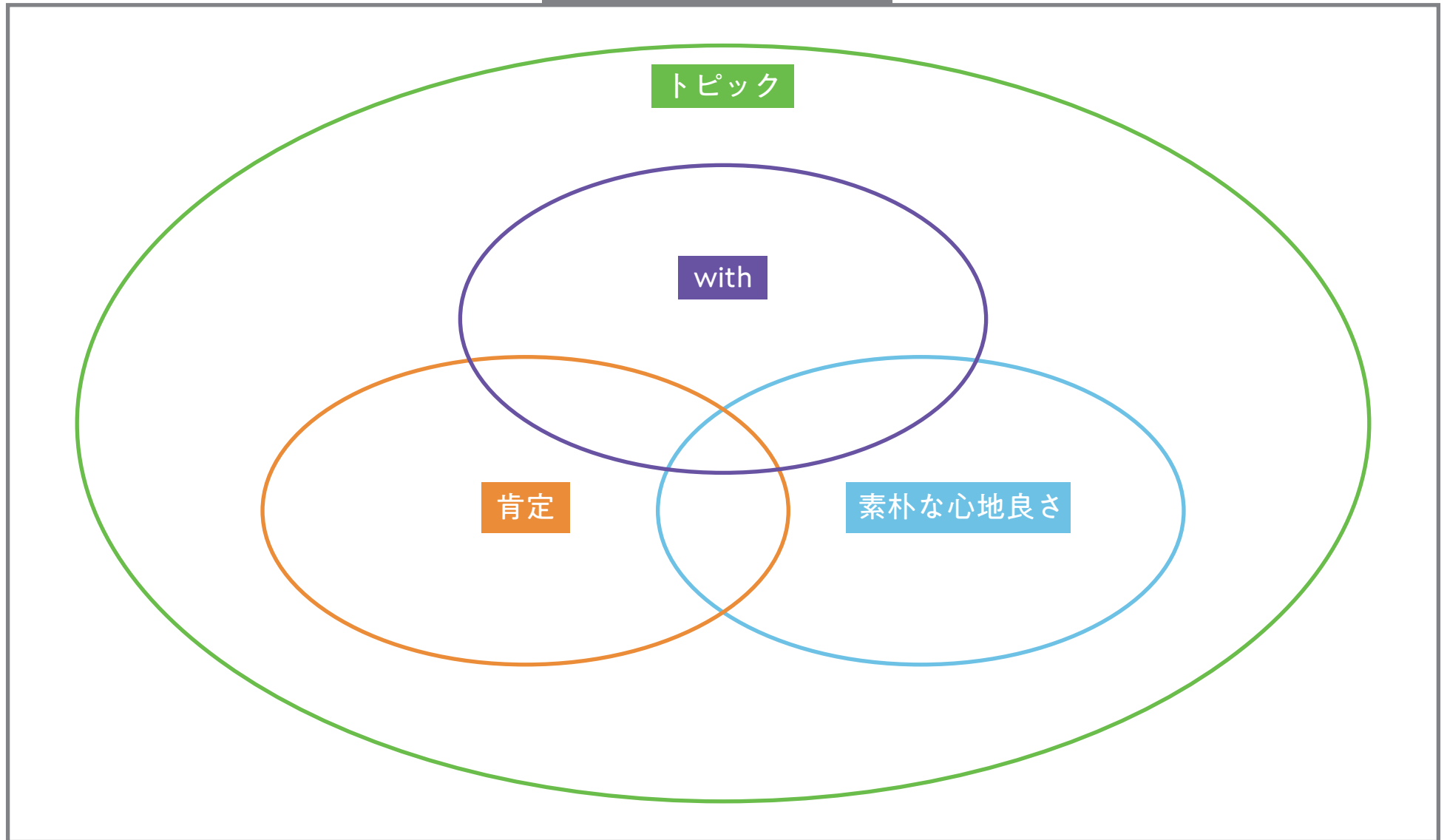
帰ってきてから思った。
島本とわたしは、やっぱり相性良いみたい。

島本と。

- ①withの姿勢：小さいからこそできる寄り添う姿勢
- ②肯定の姿勢：「島本町って良いよね」
- ③素朴な心地よさ：島本町の空気感を伝える



資本、資産、環境（背景）



資本、資産、環境（背景）

サントリー山崎蒸溜所	離宮の水	水無瀬川沿いのホテル	水無瀬川沿いの桜並木	関大明神社	若山神社 ツブラジイ
水無瀬神宮(後鳥羽上皇)	乙女の滝			山崎の大カーブ	サントリー天然水の森
水無瀬の滝					府境
若山神社					
尺代の 集落					若山神社の紅葉
山吹溪谷	尺代あまご ます釣り場				谷崎潤一郎 「蘆刈」の舞台
樹齢800年以上 「大沢のスギ」		西国街道		史跡桜井駅跡 史跡公園	公家、武士に納められた 「水無瀬駒」・中将棋

トピック

ジャパニーズ
ウイスキー発祥の地

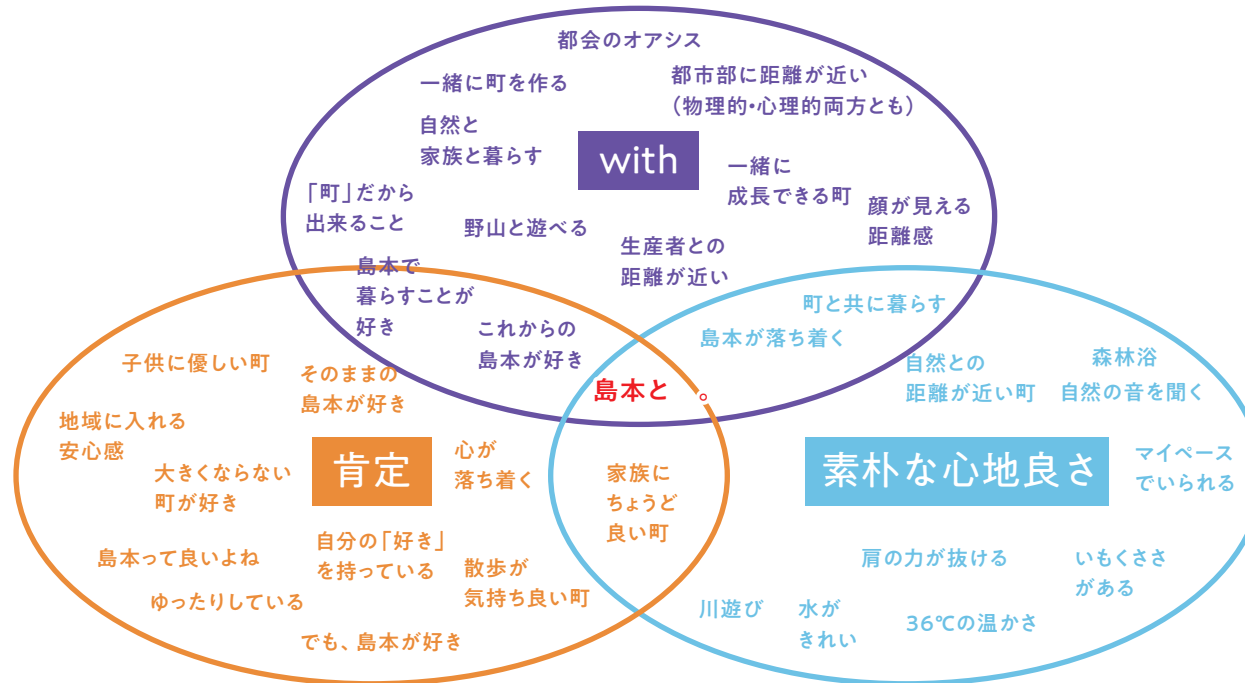
JR島本駅西地区の
区画整理事業→
令和5年以降順次完成

町内の水道の9割は
地下水を活用

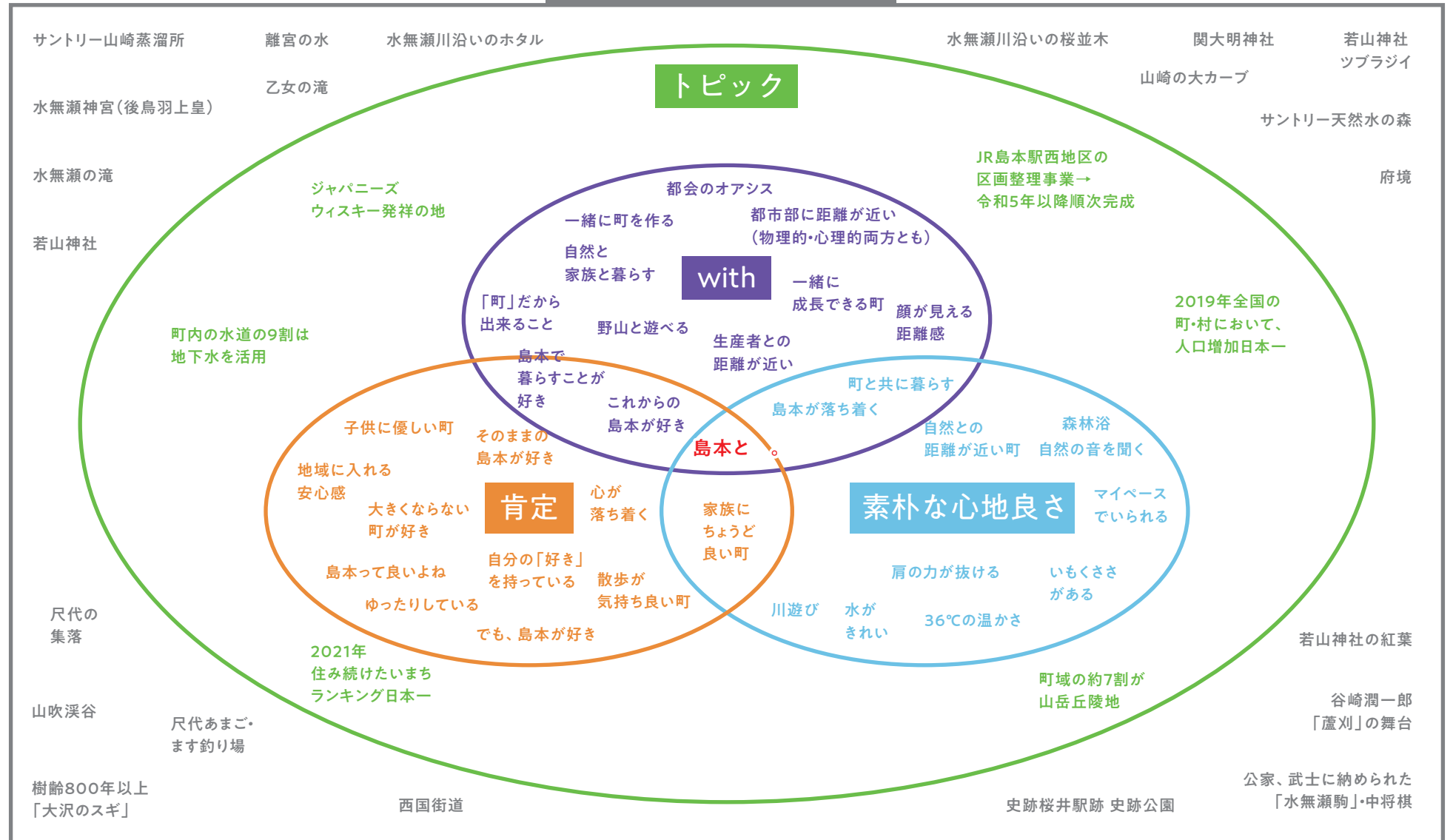
2019年全国の
町・村において、
人口増加日本一

2021年
住み続けたいまち
ランキング日本一

町域の約7割が
山岳丘陵地



資本、資産、環境（背景）



事業者及び、一部職員用フォント

職員用フォント

名称	A1 ゴシック	秀英アンチック	セザンヌ	游ゴシック
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・写植をベースにして作られたクラシックなフォント。手書きの温かい雰囲気を残し、完璧すぎない「抜け感」がある。 ・角がなく、昔からそこにあったような懐かしさを感じさせる。 ・ゴシックの中でも唯一無二。似ている形が無い。視認性と独自性のバランスが良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・格式高い歴史、文化を表現する。 ・少し使う場面を選んでしまうことがネック。 →メインタイトルに使用するとデザインが締まる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・しなやかさ、真の強さを清潔感を持ちながら表現する。 ・使う場面を選ばない。本文に使うと読みやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書にも使用される親しみと懐かしさを感じさせるフォント。 ・使う場面を選ばず使用できる。
使用イメージ	<p>島本と 。</p> <p>島本町に帰りたと思ったのは、目に見えるところに縁があったから。誰とも比べなくても、良かったから。</p> <p>良いことばかりじゃ無いし、もしかしたらここよりも自然が素敵で都会にも出やすい町があるかもしれない。</p> <p>でも、わたしは島本がいい。</p> <p>帰ってきてから思った。島本とわたしは、やっぱり相性良いみたい。</p>	<p>島本と 。</p> <p>島本町に帰りたと思ったのは、目に見えるところに縁があったから。誰とも比べなくても、良かったから。</p> <p>良いことばかりじゃ無いし、もしかしたらここよりも自然が素敵で都会にも出やすい町があるかもしれない。</p> <p>でも、わたしは島本がいい。</p> <p>帰ってきてから思った。島本とわたしは、やっぱり相性良いみたい。</p>	<p>島本と 。</p> <p>島本町に帰りたと思ったのは、目に見えるところに縁があったから。誰とも比べなくても、良かったから。</p> <p>良いことばかりじゃ無いし、もしかしたらここよりも自然が素敵で都会にも出やすい町があるかもしれない。</p> <p>でも、わたしは島本がいい。</p> <p>帰ってきてから思った。島本とわたしは、やっぱり相性良いみたい。</p>	<p>島本と 。</p> <p>島本町に帰りたと思ったのは、目に見えるところに縁があったから。誰とも比べなくても、良かったから。</p> <p>良いことばかりじゃ無いし、もしかしたらここよりも自然が素敵で都会にも出やすい町があるかもしれない。</p> <p>でも、わたしは島本がいい。</p> <p>帰ってきてから思った。島本とわたしは、やっぱり相性良いみたい。</p>

メインカラー1：琥珀色



C=5% M=53% Y=88% K=0%
R=234% G=144% B=38%

島本町の魅力は、熱過ぎず、冷め過ぎず、常温の人の温かさが1番の魅力。そんないろいろな人の温かさが混ざり合ったイメージを、深みを持った色合いの「琥珀色」で表現しました。

この「琥珀色」はウイスキーの色を表現するときにも使う色で、ジャパニーズウイスキー発祥の地のイメージも表現しています。

メインカラー2：水縹色



C=52% M=7% Y=4% K=0%
R=124% G=195% B=232%

「水縹」は、藍染の中でも薄い色で、明るい青色のこと。万葉集にも水色のことを「水縹（みはなだ）」と記載されており、古くより親しまれてきた日本の伝統色。

昔から変わらず島本町の自然が守り続けてきた水の清らかさを「水縹」で表現しました。

広報しまもと

Shimamoto



でも、島本がすき。

島本町に降りたと思ったのは、目に届えるところに緑があったから。誰と比べなくても良かったから。良いことばかりじゃないし、もしかしたらここよりも自然が綺麗で都会にも出やすい所があるかもしれない。でも、わたしは島本がいい。帰って来で良かった。島本とわたしは、相性いいみたい。

2022年
7
令和4年

特集 島本と。



島本町
Shimamoto Town

- 暮らし・手続き
- 子育て・教育
- 健康・福祉・高齢者
- 町政情報

しまもと観光

島本町のイチオシ!

Taro Shimamoto

島本太郎



大阪府島本町
都市創造部 にぎわい創造課

Tel 000-0000 Fax 000-0000
Mail nigiwai@shimamotocho.jp
〒618-8570
大阪府三島郡島本町桜井二丁目 1-1

<https://www.town.shimamoto.lg.jp/>



島本町は、

「日常的に自然と触れながら、都会近くで暮らしたい」
子育て世代の夫婦

に 世代を超えて、
愛着を感じながら住み続けられる新しい居場所 を提供する。



島本と。

島本町に帰りたいと思ったのは、
目に見えるところに緑があったから。
誰とも比べなくても、良かったから。

良いことばかりじゃ無いし、
もしかしたら
ここよりも自然が素敵で
都会にも出やすい町があるかもしれない。

でも、
わたしは島本がいい。

帰ってきてから思った。
島本とわたしは、やっぱり相性良いみたい。

島本と。

島本町に帰りたいと思ったのは、
目に見えるところに緑があったから。
誰とも比べなくても、良かったから。

良いことばかりじゃ無いし、
もしかしたら
ここよりも自然が素敵で
都会にも出やすい町があるかもしれない。

でも、
わたしは島本がいい。

帰ってきてから思った。
島本とわたしは、やっぱり相性良いみたい。

事業者及び、一部職員用フォント

職員用フォント

A1 ゴシック | 秀英アンチック | セザンヌ | 游ゴシック

メインカラー1：琥珀色

C=5% M=53% Y=88% K=0%
R=234% G=144% B=38%

メインカラー2：水縹色

C=52% M=7% Y=4% K=0%
R=124% G=195% B=232%